

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 25 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 5 日 作成

事務事業名		予算事務			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	企画財政課	担当者名	高島 圭二
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進			所属班	財政班	(内線)	1233
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 6 コスト削減優先度評価結果 2-1
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 一般会計の当初・補正予算を編成し、配当を行う。加えて特別会計の予算編成をサポートする。地方自治法で定められた様式により予算書を作成する。									
【業務の流れ】 予算の編成方針・要領を策定→あらかじめ協議書確認(補正の場合)→予算要求内容確認→政策推進本部会議による重点施策への枠配分率決定→企画財政課長特別会計ヒアリング→経営推進部による予算検討会議→政策推進本部会議への予算案説明・市長査定(補正の場合)→⑥予算原案調製→⑦予算書印刷製本→⑧予算説明資料作成→⑨議案提案理由作成→⑩議決処理→⑪予算配当									
【主な予算費目】 旅費、消耗品費、印刷製本費、予備費									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・事務事業の概要と同じ	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・前年度と同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・市の予算(当初、補正)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 予算編成に要した日数 日 イ うち予算査定に要した日数 日
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・財政計画に沿った予算となる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 財政計画予算規模 百万円 イ 当該年度歳入歳出予算 百万円
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・健全な財政計画となっている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 当該年度歳入歳出予算/財政計画予算規模 割合 % イ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 経常収支比率 % イ 実質公債費比率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  目 標 合 計 数 計 画  22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	145	20,401	21,522	20,377	20,328	20,328		20,328
		(A) 事業費計	千円	145	20,401	21,522	20,377	20,328	20,328		20,328
		うち指定経費	千円								
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
		トータルコスト(A)+(B)	千円	9,991	51,620	52,566	84,013	51,372	51,372		51,372
活動指標	ア	日	135	135	135	135	135	135	135		
	イ	日	30	30	30	30	30	30	30		
	ア	百万円	15919	15672	15245	15245	15038	14614	14643		
	イ	百万円	15919	15672	15310	16800	15355	14700	14700		
対象指標	ア	%	100	100	100.4	110.2	102.1	100.6	100.4		
	イ	%									
成果指標	ア	%	92	87	95.6	93.2	93.9	92.8			
	イ	%	14.7	15	15.3	14.7	14.9	14.5			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
・地方自治法第211条に基づき、合併前の町制施行時から実施している。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
・平成20年後半から世界の金融市場は、百年に一度と言われる危機に陥っており、我が国経済についても、世界的な景気後退を受けて、外需面に加え、国内需要も停滞し、景気の下降局面が長期化・深刻化するおそれが高まっている。このことから、本市においても市税の増加は到底期待できず、セーフティネットである生活保護費等の社会保障費の増加が懸念される。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
・議会から将来の予算編成を心配する声が聞かれる。

事務事業名	予算事務	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・意図の中中期財政計画に沿った予算が編成されることにより、結果、財政が健全になる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・地方自治法で定められている。(市議会の審議を受けなければならない。)
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・行政評価システム導入で、各事務事業の優先度等評価の精度を高めることで、成果の向上が期待できる。 ・政策推進本部会議による重点施策等の決定、経営推進部会による施策ごとの事務事業優先度を検討することで精度が高まる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・この事務事業を廃止・休止することは、地方自治法に反するため、廃止・休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ・行政評価システムとの連携により、成果向上が期待できる。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・予備費を除き、旅費、需用費などの必要最小限の事業費であり、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・事務事業評価制度導入により、当初予算については枠配分・予算検討会議などで予算査定に要する時間が短縮され人件費の削減につながった。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ・この事務は市の財政運営にかかるもので、特定の受益者はおらず、市全体のかかっているため公平となっている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・有効性: 行政評価システム導入で、各事務事業の優先度等評価の精度を高めることで、成果の向上が期待できる。また、政策推進本部会議による重点施策等の決定、経営推進部会による施策ごとの事務事業優先度を検討することで精度が高まる。 ・効率性: 事務事業評価制度導入により、当初予算については枠配分・予算検討会議などで予算査定に要する時間が短縮され人件費の削減につながった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・行政評価システムとの連携を強化する。 ・事務事業の見直しによる統廃合を進める。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・各課の予算編成に関する意識の向上。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	9	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )